

九州の星
Star of Kyushu

| 73 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

琵琶の製作と修復技術を
後世に伝え残すために活動する



琵琶製作・修復職人



▲琵琶製作・修復の工具が整然と並んだ工房教室「琵琶館」にて

琵琶の美しい音色に魅せられて

イタリア生まれのドリアーノ・スリスさんは、イタリアの言語や文化を教える「イタリア会館」の館長を務めながら、琵琶製作・修復の活動を続けている。

ドリアーノさんは、ローマで知り合せて結婚した妻の里帰りで、1974年に日本にやって来た。「ある日、ラジオから流れてきた琵琶の音色に衝撃を受けました。今までに聞いたことのない、現代的な音色に聴こえたのです」

琵琶の音色が忘れられず、当時日本の唯一の筑前琵琶職人・吉塚元三郎よしづか げんざぶろうさんの工房を訪ねた。福岡県の無形文化財であった吉塚さんは80歳くらいで、聞けば後継者はいないという。「自分が弟子に

なるので教えてください」思わず口をついて出た。吉塚さんはじつと顔を見て「明日から来なさい」とだけ言った。それから約5年、琵琶製作の修業に専念した。

師匠が他界してからも琵琶の文化を守る為、孤軍奮闘してきた。しかし2年前に脳出血を患い3カ月入院し、「技術をつながなければ」と覚悟を決めた。2021年10月、工房教室「琵琶館」を開講。2人が弟子入りし、琵琶について学びたいと教室に通う人もいる。

「一度きりの人生。やりたいことがあったら迷わずやったらいいですよ」

琵琶の音色に魅せられた人生。共鳴した人たちが集い、バトンをつないでいく。

ドリアーノ スリス

DORIANO SULIS

Age 74

琵琶製作・修復職人
イタリア会館 福岡館長

琵琶館 HP イタリア会館 福岡 HP



▲27歳の時、筑前琵琶職人・吉塚元三郎さんに弟子入り



▲弟子の権藤智海ごんどう ともみさんに琵琶製作を教えるドリアーノさん